

(インドネシア) - 2 件

1. 9月、インドネシアの地熱発電容量は 2003.3 MW

2019年10月28日



(エネルギー鉱物資源省(ESDM)地熱キャンペーン)

エネルギー鉱物資源省(ESDM) 新再生可能エネルギー・省エネルギー総局(EBTKE)のイダ・ヌルヤティン(Ida Nuryatin Finahari)地熱局長は28日、ルムット・バライ地熱発電所から55MWが追加となり、9月末までの地熱発電容量は2003.3MWに達したと述べた。

ルムット・バライ地熱発電所は南スマトラ州に位置し、プルタミナ・ジオサーマルエナジー社(PGE)が操業している。プロジェクトへの投資額は約2億4,750万米ドル。2019年7月に商業運転予定であったが、9月まで延期されていた。

これで、残り3つの地熱発電所が商業運転開始予定となる。

2019年稼働予定地熱発電所

地熱発電(PLTP)	州	操業者	発電容量 (MW)	投資額 (米ドル)
ムアラ・ラボ 第1号機 Muara Laboh Unit 1	西スマトラ	PT. Supreme Energy Muara Laboh	80	約3億 6,000万
ソリック・ムラピ 第1号機 Sorik Merapi Unit 1	北スマトラ	PT. Sorik Merapi Geothermal Power	40	約1億 8,000万

ソコリア第1号機 Sokoria Unit 1	東ヌサトゥ ンガラ	PT. Sokoria Geothermal Indonesia	5	約2,250万
		計	185	

(出典:10月28日付 Katadata.com)

2. 3 地熱鉱区入札発表

2019年10月28日

イダ地熱局長は、3つの地熱鉱区入札について発表した。推定地熱資源の総埋蔵量は246 MWeに達する可能性がある。

- 入札登録&書類購入期間:2019年10月22日～11月12日
- 入札説明会:2019年11月12～14日
- 入札期間:2019年11月15日～12月2日
- 入札結果:2020年3月下旬予定

2019年度地熱鉱区入札

地熱鉱区名 (WKP)	州	面積 (ha)	推定資源 埋蔵量 (MWe)	計画発電 能力 (MWe)
ライネア Lainea	南東スラウェシ州 Sulawesi Tenggara	15,620	66	2x10
グヌン・ガルングン Gunung Galunggung	西ジャワ州 Jawa Barat	57,330	130	55
グヌン・ウィリス Gunung Wilis	東ジャワ Jawa Timur	20,840	50	2x10

(出典:10月28日付 Katadata.com)